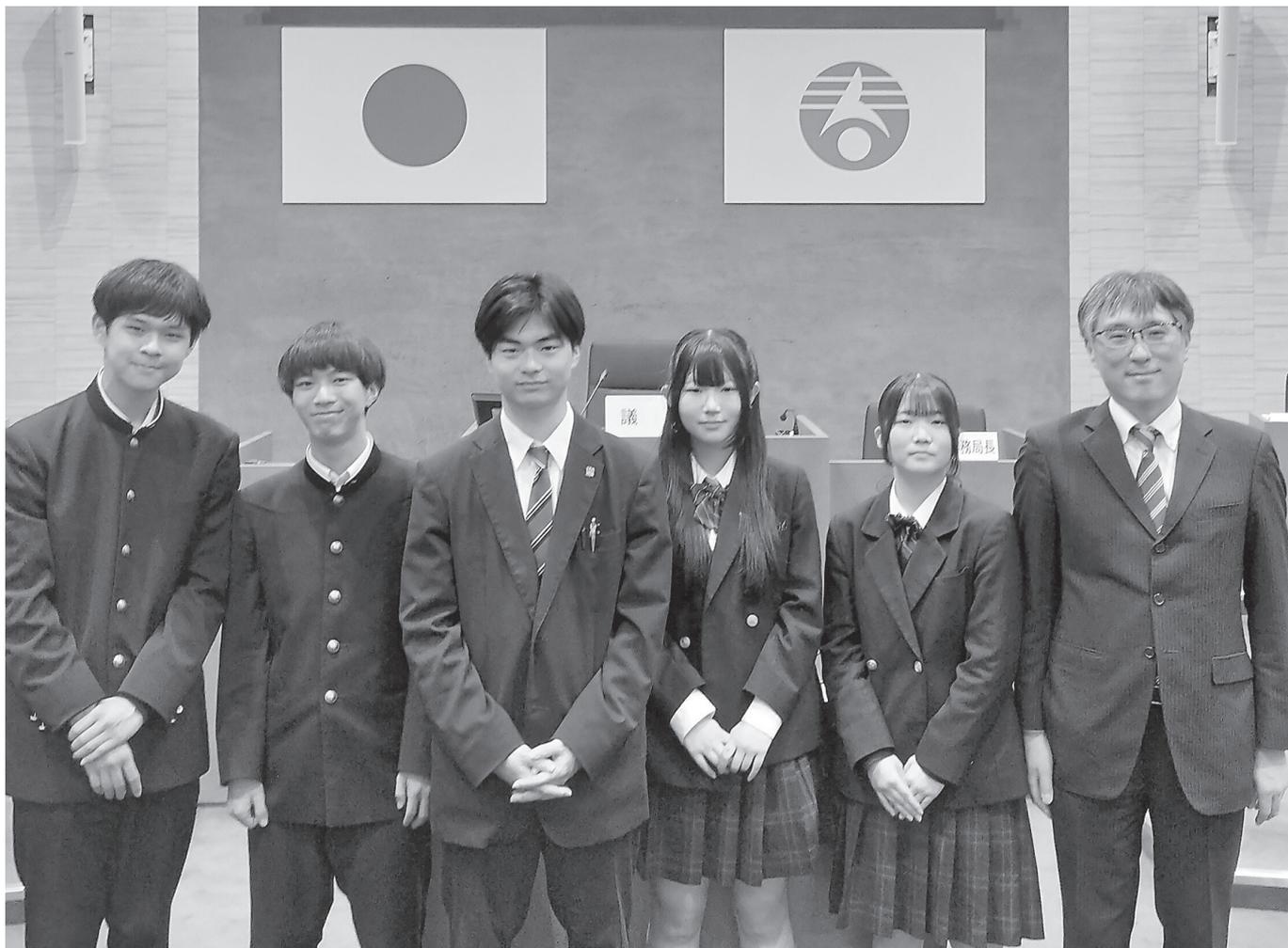


かすかべ KASUKABE 議会だより

2025(令和7)年11月1日発行
発行・埼玉県春日部市議会
編集・広報広聴委員会
<https://www.kasukabe-shigikai.jp/>

第81号



庄和高等学校との意見交換会（議会報告会）の様子
(令和7年3月25日開催)



次の定例会は
11月26日(水)開会予定です

主な内容

- 主な議案の紹介…………… 2～5 ページ
- 審議結果…………… 5～6 ページ
- 一般質問…………… 7～15 ページ
- 閉会中の委員会活動…………… 16 ページ
- 埼玉県議会への要望書提出… 16 ページ

令和6年度一般会計決算を認定

・職員の育児休業等に関する条例等の一部改正、
大沼公園広域受援拠点施設整備工事請負契約の
議決内容の一部変更を可決

・2026年度当初から、全国全ての小中学校で
学校給食の無償化実施を求める意見書を可決

令和6年度 一般会計決算を認定

令和6年度一般会計決算の
主な内容は、次のとおりとな
ります。

○主な内容

歳入決算額は、946億4
147万円、歳出決算額は、
908億19万円となり、翌年
度への繰越財源6億1664
万円を差し引いた実質収支額
は、32億2463万円とな
ります。

○歳入の主なもの

市税は、293億3028
万円（31・0％）で、前年度
比4億4157万円の減とな
っています。これは、市民税
法人や固定資産税の増などが
ありましたが、市民税個人の

減などによるものです。

次に、国からの補助金など
である国庫支出金は、198
億4374万円（21・0％）
で、前年度比6億9361万
円の増となっています。これ
は、物価高騰対応重点支援地
方創生臨時交付金や児童手当
負担金の増などによるもので
す。

次に、地方交付税は、13
0億4319万円（13・8％）
で、前年度比12億4531万
円の増となっています。

次に、市債は、69億661
9万円（7・4％）で、前年
度比48億1159万円の減と
なっています。これは、旧ご
み焼却施設解体事業債の増な
どがありました。本庁舎整
備事業債の減などによるもの
です。

○歳出の主なもの

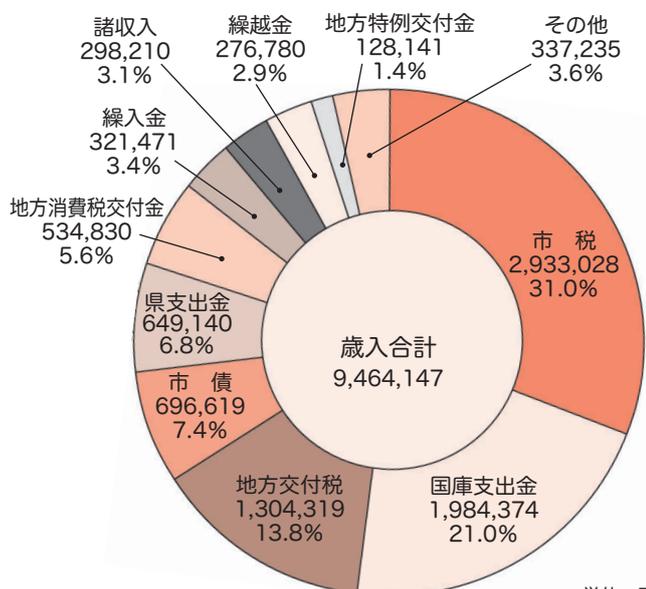
歳出に占める割合の大きい
民生費は、441億8441
万円（48・7％）で、前年度
比26億4131万円の増とな
っています。これは、低所得
者支援及び定額減税調整給付
事業や低所得者支援給付金
（追加分）の増などによるも
のです。

次に、教育費は、98億35
49万円（10・8％）、前年
度比10億5585万円の増と
なっています。これは、給食
センター運営事業や市民文化
会館運営事業の増などによる
ものです。

次に、総務費は、92億14
33万円（10・2％）、前年
度比68億2821万円の減と
なっています。これは、本庁
舎整備事業の減などによるも

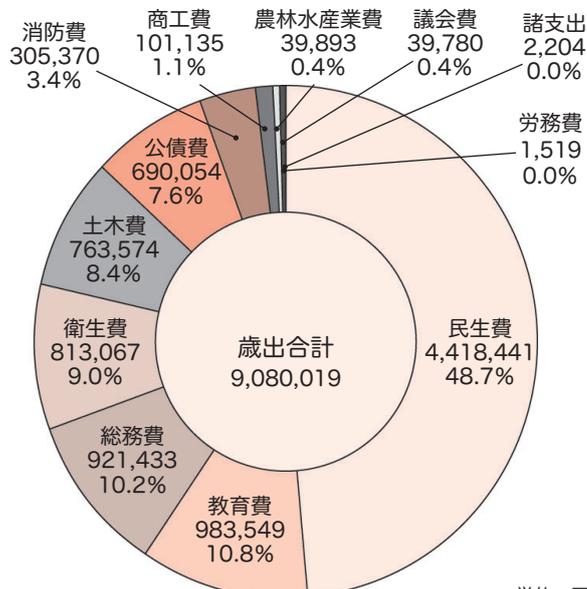
令和6年度 一般会計決算

歳入総額 946億4,147万円



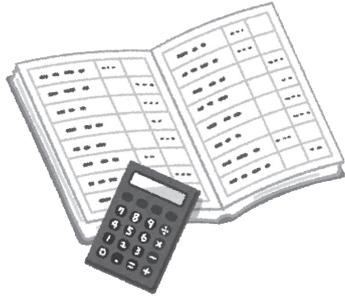
単位：万円

歳出総額 908億19万円



単位：万円

※計数については、それぞれ四捨五入をしているため、合計において一致しないものがあります。



決算概要
はこちら



【賛成多数で認定】

のです。
そのほか、衛生費は、81億3066万円(9・0%)、前年度比2億2193万円の増。土木費は、76億3574万円(8・4%)、前年度比2億7458万円の減。公債費は、69億54万円(7・6%)、前年度比7086万円の減。消防費は、30億5370万円(3・4%)、前年度比2億3754万円の増。商工費は、10億1135万円(1・1%)、前年度比3595万円の増。農林水産業費は、3億9893万円(0・4%)、前年度比7363万円の減となっています。

討論

子育ても老後も安心の春日部へと充実することを願って反対(日本共産党)

令和6年度一般会計決算は、実質収支32億円余り、財政調整基金は26億円余りとなりました。市税収入も実質増、地方交付税も10・9%増で、暮らし、福祉充実の財源は十分にあると言えます。

一方、市民の所得は増加傾向とは言っても県平均よりも38万円以上低く、県平均所得との差は年々広がっています。32億円の赤字について「おおむね適切」との認識ですが、暮らし、福祉の充実と市民サービスの向上、市民要望実現のために、この財源も生かし、市政への課題を指摘します。

1点目は正規職員の増員です。全体の奉仕者である市職員は、職員一人当たりの市民数が県下2番目に多い状況です。職員を増やしている途上かと思いますが、職員の負担が重くサービス低下を招きかねません。
2点目は子育て支援、高齢者、障がい者に対する施策の充実です。

子育て支援は若い世代の人口増加の要です。「子育てするなら春日部」と言える魅力ある施策展開を求めます。

3点目は安全・安心の活気あるまちづくりです。

住宅リフォーム助成は市民からたいへん歓迎され、あつという間に予算を使い切りました。大幅な予算増額を求めます。

4点目は教育、文化、スポーツの一層の充実です。

公民館の老朽化が深刻です。建て替えなど施設改善と使用料の無料化を求めます。令和6年度、公民館の中で利用率が最も高かった粕壁南公民館が廃止されようとしていることは、公民館の役割をあまりに軽視しています。地域づくりの拠点として、社会教育施設の公民館は各地区2館、必要な改築・改修を行い、充実すべきことを強く主張します。

学校教育においては、学校給食費の無償化、給食調理室の改築・改修、庄和地域も自校調理にすることを求めます。
住民の安全、健康、福祉を守る自治体本来の役割を發揮し、子育ても老後も安心の春日部へと充実することを願って反対します。

健全で持続可能な財政運営に努めていただくことを要望し賛成(次世代 かすかべ)

令和6年度の社会経済情勢は、経済の緩やかな回復が続く一方、物価高騰が止まらず、その対策や賃上げなどの課題への対応に明け暮れた年であったと捉えています。

そのような状況を背景に、歳入では、市税や地方交付税などが実質的に前年度決算額を上回っている一方、新本庁舎整備事業が完了したことに伴う市債の大幅減などにより、歳入全体では前年度比で約20億円の減となっています。

また、歳出においては、物価高騰対策を引き続き実施しつつ、国民健康保険特別会計への繰出金、障害者介護給付などの扶助費の増、ごみ処理施設や給食センター、小中学校等の整備など、喫緊で必要となる事業を実施した一方、新本庁舎整備事業完了の影響などにより、歳出全体では前年度比で約31億円の減となっています。

実質的な債務の額は、約895億円で、前年度比約23億円の減となっています。さまざま大型事業に取り

組みながら、本市の債務が少なくなってきたということは、職員の皆さんの努力のたまものと認識しています。物価高騰などで大変難しい状況ではありますが、引き続きバランスの取れた対応を求めます。

令和6年度決算の認定に当たり、改めて総括すると、今回の決算は経済の緩やかな回復を背景としつつ、必要な財源を確保した上で、春日部駅付近連続立体交差事業をはじめとした大規模事業や物価高騰対策としての各種事業、福祉や子育てなど社会的な要請に応えた、さまざまな事業を実施できたものと評価します。
今後の財政運営については、新本庁舎整備事業が完了したものの、連続立体交差事業や老朽化した公共施設の更新などの大規模事業がまだ多く控えており、一方、人件費や物価高騰などに伴う各種経費の増加、社会的要請による扶助費の増大も想定されるところです。これらが及ぼす将来に向けた財政への影響を十分念頭に置き、財政の健全性を損なうことのないよう、持続可能な財政運営に努めていただくことを要望し、賛成します。

**不用額の縮減に努め
財源を有効活用する
予算編成を強く要望し
賛成（新政の会）**

財政調整基金については、令和4年度決算時51億7103万円、令和5年度決算時41億8846万円、令和6年度決算時26億7844万円と3力年で下落の一方です。持続可能な財政運営を健全に行うには、これ以上、財政調整基金を下げ続けるのは危ういと考えます。

また、歳入歳出の見込み違いによる不用額の多さや補助金の執行状況における事後的な精査の不足、さらには事業評価における数値的根拠の弱さといった点は、財政運営の透明性、効率性の観点から看過できない課題であると考えます。

本市が抱えている今後の課題として、将来負担比率が令和4年度は9・9%、令和5年度は新庁舎の建設などもあり、25・6%、令和6年度は34・2%にさらにアップしています。

実質公債費比率は令和4年度2・8%、令和5年度2・9%、令和6年度2・5%と、まだこちらのほうは新庁舎の

支払いが始まっていないので、大きな数字の変化はありませんが、今後大きくなることは明確です。すなわち、未来のこともたちにツケを回すことになりま。この事実が市民の目に見えるよう、また財政破綻を起こさないためにも、中期財政計画をしっかりと立てることが必要であると考えます。

決算は単に1年間の収支を認定するだけの手続きではなく、次年度以降の予算編成や政策立案に生かされるべき重要な資料です。それにも関わらず、監査委員から毎年のように類似の指摘を受けていることは、執行部が十分に改善を果たしていない表れではないでしょうか。

議会は、市民の負託を受けた立場として、決算審査を通じて行政運営のチェック機能を果たす責務があります。

執行部においては、指摘を真摯に受け止め、再発防止に努めることを強く求めます。

以上、財政面において指摘しましたが、全体として令和6年度の一般会計決算は適正に各事業が執行されていると考え、決算の認定に賛成します。

職員の育児休業等に関する条例等の一部改正を可決

地方公務員の育児休業等に関する法律の一部改正に伴い、趣旨の規定などを改正するものです。

はじめに、第1条、春日部市職員の育児休業等に関する条例の一部改正については、地方公務員の育児休業等に関する法律の一部改正に伴い、部分休業制度の拡充について定めるものです。

条例の主な改正内容は、第1条については、育児休業法（地方公務員の育児休業等に関する法律）の改正により、引用条項の変更が生じたため改正するものです。

次に、第17条第2号では、部分休業の承認の請求が可能でない非常勤職員の要件の変更に伴い、「日数及び勤務日ごとの勤務時間」を「日数」に改めるとともに、所要の改正を行うものです。

次に、第18条および第18条の2では、部分休業制度の拡充に伴い、2種類の形態を選択可能とするため、所要の改正を行うものです。次に、第18条の3、第18条

の4および第18条の5では、部分休業を請求する期間、時間および特別の事情に関する規定を、新たに加えるものです。

次に、第19条および第20条では、部分休業をしている職員の給与の取り扱いおよび承認の取消事由について引用条文を明確化するなど、所要の改正を行うものです。

次に、第2条、春日部市技能職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正、第3条、春日部市病院事業企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正、第4条、春日部市水道事業企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正については、第1条と同様に部分休業制度の拡充に伴い、「1日の勤務時間の一部」を「1日の勤務時間の全部又は一部」に改めるとともに、「2時間を超えない範囲内」を「2時間を超えない範囲内又は一年につきそれぞれの任命権者が指定する時間を超えない範囲内」に改めるものです。

最後に附則は、第1項で、この条例の施行期日を、令和7年10月1日からするとともに、第2項で部分休業の承

認の請求をする場合の経過措置の規定を定めるものです。

**大沼公園広域受援
拠点施設整備工事
請負契約の議決内容の
一部変更を可決**

令和7年3月19日付け議案第47号および令和7年6月17日付け議案第66号において議決した当該契約の契約金額、「12億7020万8500円」とあるのを「1億5657万2900円」を増額し、「14億2678万1400円」に変更するものです。

変更の理由は、現地における支持力調査の結果、規定の支持力を得るため、地盤改良を追加で実施する必要が生じたことから、その分を増額するものです。

【全員一致で原案可決】



議員提出議案

2026年度当初から、全国全ての小中学校で学校給食の無償化実施を求め、意見書

2025年3月5日、「自由民主党・公明党・日本維新の会の政調会長は、子育て世帯の負担軽減を図る観点から、2026年度からの小学校の給食費の無償化について、5月中旬をめどに具体的な制度設計の方針をまとめることで合意した」、「夏の骨太方針に盛り込まれる」との報道がありました。が、どのように進められるのか明らかになっていません。

また、物価高騰が続き、子育て世帯の経済的負担は増える一方です。2026年度からの小学校での無償化に期待が集まると同時に「食べ盛りの中学校こそ無償化してほしい」「中学生は制服や部活、塾など小学生より負担が大きい。後回しにせず同時に無償化を」との声が大きくなっています。

よって、政府におかれましては、学校給食費の無償化にあたって、2026年度当初

から、全国全ての小中学校で同時に実施することを強く求めます。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。
令和7年9月25日
春日部市議会

衆議院議長 長 様
参議院議長 長 様
内閣総理大臣 様
財務大臣 様
文部科学大臣 様
内閣府特命担当大臣(子ども政策) 様

【全員一致で原案可決】

討論

こどもの育ちを保障する、小中学校一斉での無償化実施に賛成(日本共産党)

米価高騰をはじめ、相次ぐ食料品、燃料代の値上げが物価高騰を深刻にしています。

日本国憲法では、教育費の原則無償をうたっており、給食が食育と言われるように、教育の位置付けがされたことから無償化は当然です。

学校給食の果たしてきた貧困と格差による、こどもの育ちを保障する大変重要なものとなりますので、2026年度からの小中学校一斉での無償化実施を求め、賛成討論とします。

9月定例会 審議結果

市長提出議案

(○:賛成 ×:反対)

議案番号	議 案 名 () は付託委員会名	審議結果	新 政 の 会	次 世 代 か す か べ!	公 明 党	日 本 共 産 党	立 憲 民 主 党	日 本 維 新 の 会	無 所 属
議案第 76 号	集会所条例の一部改正 (総 務)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 77 号	職員の育児休業等に関する条例等の一部改正 (総務・厚生福祉・建設)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 78 号	保育の必要性の認定に関する条例の一部改正 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 79 号	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の一部改正 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	×	○	○	○
議案第 80 号	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	×	○	○	○
議案第 81 号	重度心身障害者医療費助成に関する条例の一部改正 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 82 号	都市公園条例の一部改正 (建 設)	原案可決	○	○	○	×	○	○	○
議案第 83 号	市立医療センター使用料及び手数料条例の一部改正 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 84 号	住民基本台帳カードの利用に関する条例の廃止 (総 務)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 85 号	庄和消防署大規模改修工事請負契約の締結 (総 務)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 86 号	財産の取得 (市立中学校・義務教育学校における学習者用端末) (教育環境)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 87 号	指定管理者の指定 (市民活動センター) (総 務)	原案可決	○	○	○	×	○	○	○
議案第 88 号	指定管理者の指定 (ふじ支援センター、ゆりのき支援センター、リサイクルショップ、ひまわり園及びあおぞら) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	×	○	○	○
議案第 89 号	指定管理者の指定 (市立ふじ学園及び市立八木崎保育所) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	×	○	○	○
議案第 90 号	指定管理者の指定 (市立武里南保育所) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	×	○	○	○
議案第 91 号	指定管理者の指定 (市立体育施設及び都市公園) (建 設・教育環境)	原案可決	○	○	○	×	○	○	○

市長提出議案

(○:賛成 ×:反対)

議案番号	議案名 ()は付託委員会名	審議結果	新 政 の 会	次 世 代 か す か べ!	公 明 党	日 本 共 産 党	立 憲 民 主 党	日 本 維 新 の 会	無 所 属
議案第 92 号	令和 6 年度水道事業会計未処分利益剰余金の処分 (建設)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 93 号	令和 6 年度下水道事業会計未処分利益剰余金の処分 (建設)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 94 号	令和 6 年度一般会計決算認定 (各委員会)	認 定	○	○	○	×	○	○	○
議案第 95 号	令和 6 年度国民健康保険特別会計決算認定 (厚生福祉)	認 定	○	○	○	×	○	○	○ ³ × ¹
議案第 96 号	令和 6 年度後期高齢者医療特別会計決算認定 (厚生福祉)	認 定	○	○	○	×	○	○	○
議案第 97 号	令和 6 年度介護保険特別会計決算認定 (厚生福祉)	認 定	○	○	○	×	○	○	○
議案第 98 号	令和 6 年度春日部都市計画事業西金野井第二土地区画整理事業特別会計決算認定 (建設)	認 定	○	○	○	○	○	○	○
議案第 99 号	令和 6 年度市立看護専門学校特別会計決算認定 (厚生福祉)	認 定	○	○	○	○	○	○	○
議案第 100号	令和 6 年度水道事業会計決算認定 (建設)	認 定	○	○	○	×	○	○	○
議案第 101号	令和 6 年度病院事業会計決算認定 (厚生福祉)	認 定	○	○	○	○	○	○	○
議案第 102号	令和 6 年度下水道事業会計決算認定 (建設)	認 定	○	○	○	×	○	○	○
議案第 103号	令和 7 年度一般会計補正予算 (第 3 号) (教育環境)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 104号	令和 7 年度一般会計補正予算 (第 4 号) (各委員会)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 105号	令和 7 年度国民健康保険特別会計補正予算 (第 2 号) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 106号	令和 7 年度後期高齢者医療特別会計補正予算 (第 2 号) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 107号	令和 7 年度介護保険特別会計補正予算 (第 1 号) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 108号	令和 7 年度春日部都市計画事業西金野井第二土地区画整理事業特別会計補正予算 (第 1 号) (建設)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 109号	令和 7 年度市立看護専門学校特別会計補正予算 (第 1 号) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 110号	令和 7 年度病院事業会計補正予算 (第 1 号) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 111号	令和 7 年度下水道事業会計補正予算 (第 1 号) (建設)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 112号	大沼公園広域受援拠点施設整備工事請負契約の議決内容の一部変更 (教育環境)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○

請 願

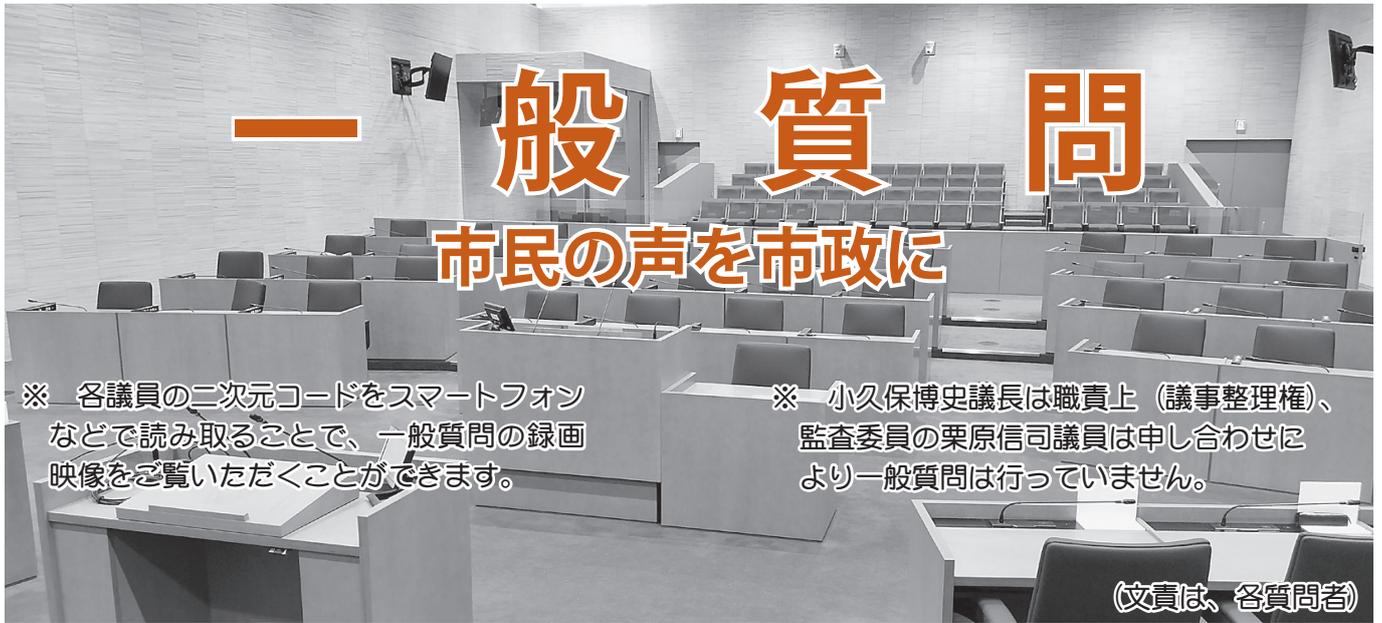
(○:賛成 ×:反対)

請願番号	請 願 名 ()は付託委員会名	審議結果	新 政 の 会	次 世 代 か す か べ!	公 明 党	日 本 共 産 党	立 憲 民 主 党	日 本 維 新 の 会	無 所 属
請願第 6 号	粕壁南公民館を廃止しないで、これからも利用できるよう求める請願 (教育環境)	不 採 択	×	×	×	○	×	×	×

議員提出議案

(○:賛成 ×:反対)

議案番号	議案名 ()は付託委員会名	審議結果	新 政 の 会	次 世 代 か す か べ!	公 明 党	日 本 共 産 党	立 憲 民 主 党	日 本 維 新 の 会	無 所 属
議第 15 号議案	2026年度当初から、全国全ての小中学校で学校給食の無償化実施を求める意見書 (付託省略)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議第 16 号議案	生活保護基準引き下げ「違法」の最高裁判決を踏まえ、速やかな対応を求める意見書 (付託省略)	原案可決	○	○	○	○	○	×	○
議第 17 号議案	県民活動総合センターの存続を求める意見書 (付託省略)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○ ² × ²
議第 18 号議案	学校の業務量に見合った教職員定数の改善と全国の教員の勤務実態調査を求める意見書 (付託省略)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○



一般質問

市民の声を市政に

※ 各議員の二次元コードをスマートフォンなどで読み取ることで、一般質問の録画映像をご覧いただくことができます。

※ 小久保博史議長は職責上（議事整理権）、監査委員の栗原信司議員は申し合わせにより一般質問は行っていません。

（文責は、各質問者）

一般質問に25人が登壇

岩谷市長の 市政運営について



吉田 稔
議員

過日、岩谷市長は10月の市長選挙へ立候補すると表明されました。

そこで、以下お伺いします。
① 4年間で取り組んだ内容。
② 前回の市長選挙の公約について。
③ もう少し推し進めていく必要があると感じている公約など、さまざまな思いを踏まえて、今後どのように本市の市政運営に取り組んでいく考えなのか。

○市長

① 新型コロナウイルス感染症対策として感染拡大防止と地域経済や市民生活への支援、総合振興計画の各分野における取り組みについて全力で取り組んできました。
② 公約として、大きく5つの項目を掲げてきました。主な取り組みと結果ですが、多くの人々が行き交う活気のある「かすかべ」にチャレンジ！では、旧春日部市商工振興セ

ンター跡地活用を目的として実施した、公募型プロポーザル方式による事業者募集の結果、令和7年6月にコープかすかべテラスとしてグランドオープンしました。

③ 健やかで幸せと書く、健康なまち春日部の実現を目指し、市民の皆さまの暮らしやすさと幸福感の向上を実現していきたいと考えています。このまちに生まれ、育ち、このまちを愛してきた一人として、未来を担うこどもたちに誇れる「ふるさとかすかべ」を残すため、全身全霊で職責を果たしていきます。

上下水道事業の 各計画改定について



奥沢 裕介
議員

近年、全国各地で老朽化や自然災害などを背景とした水道管破損漏水事故が継続的に発生し、断水、濁水、道路陥没の増加などの課題が顕在化しています。加えて、上下水道施設は、地域の生活・医療・産業に密着した重要なインフラであると考えます。

上下水道事業を安定的に継続していくために必要な本市の取り組みについて、市長に伺います。

○市長

上下水道は、市民生活にとって欠かすことのできない重要なインフラであると認識しています。

上下水道の事業を安定的、継続的に行っていくには、経営戦略に基づき健全な経営を図る必要があります。

そのため、八潮市内で発生した、県流域下水道管の破損に起因する道路陥没事故について、中川流域管内の市町に新たな負担が生じないように、令和7年7月には管内市町で構成する協議会において、私自身も出席し、大野知事に直接要望を行ったところです。

今後についても、市民の皆さまに安全で安定した水道水を供給し、生活に支障なく汚水を流せるよう、上下水道施設の計画的な更新や適切な維持管理に努めるとともに、経営基盤の強化に取り組んでいきます。

このほか

○自治体情報システム標準化とDXの推進について
○シェアサイクルについて

市の文化財保護のため 郷土資料館の充実を



今尾 安徳
議員

私の住む内牧地区において、民地に設置されていた石造物2点が、最終的に処分されるということになりました。昔の人々の暮らしや生活に思いをはせることは郷土愛の醸成にもつながるものと考えています。また、郷土資料館を充実させ、こうした文化財の一部でも保存しながら市内の歴史遺産の観光などにも活用できるようにしていくべきだと考えます。例えば「くるつと春日部歴史探検」など、そこに行けば本市の歴史、人々の時代時代の生活が分かり、そこから市内観光につなげていくのではないかと考えます。そこで、郷土資料館の充実の考えと、市長に、市民の生活の歴史を残すことに対する考えを伺います。

○社会教育部長

春日部市文化財保存活用地域計画に基づき、文化財の保存活用の拠点としての郷土資

料館の充実に努めていきたいと考えています。

○市長

地域住民の残したさまざまな生活の跡を知ることができ文化財は、地域に暮らしの人々の生きた証しを後世に伝える大切なものであると認識しています。今後も文化財保存活用地域計画に基づき、文化財の調査と記録を進め、郷土資料館などでの普及・活用を通して、その価値を伝えていきたいと考えています。

このほか

○内牧公園内にプレイパークができるスペース確保を



市内の歴史遺産

コープかすかべ テラスについて



大里 昇
議員

今年の6月10日に春日部駅東口から教育センターに向かう、学校通り沿いに複合施設が入ったコープかすかべテラスがオープンして約3カ月が経過しました。商業施設が減って寂しい状態だった中で、コープかすかべテラスが非常にありがたく、新しい店舗に多くの買物客を目にし、心弾む思いです。買物弱者の解消と地域のにぎわい創出のきっかけとなり、これから楽しみな東口かいわいになっていくことと期待しています。そこで、コープかすかべテラスの施設概要、オープンに伴うさまざまな効果を伺います。

○環境経済部長

春日部駅東口から徒歩7分に位置し、敷地面積4259・80平方メートル、建築面積は3534・29平方メートル、地上3階建て、延べ床面積1万364・92平方メートルとなっています。主なテナ

ントは、1階に食品スーパー、飲食店、クリーニング店、2階にはクリニックモール、春日部労働基準監督署、貸会議室など、3階には春日部公共職業安定所となっています。また、効果については、多種多様な施設による暮らしの利便性の向上、多くの方々が食品スーパーなどを訪れることによる人の流れ・にぎわいの創出、テナントなどの出店による雇用の創出、地域との交流や連携、地域への貢献などが考えられます。

このほか

○ひきこもり支援について

中心市街地の まちづくりについて



山崎 進
議員

春日部駅を中心に2031年度完成を目指して鉄道高架化工事が進んでいます。中心市街地が鉄道で分断されましたが、この事業で10カ所の踏切が除却され、分断が解消され、人々の円滑な移動、商業・業務活動の活性化、にぎわいの創出が期待されます。

それには、まちづくりが重要になってきます。春日部の歴史を残しつつのまちづくりが望ましく、鉄道高架化があと6年程度で完成を目指しているからには、まちづくりも早急に着手しなければならぬと考えますが、まちづくりの将来像について伺います。また、古利根川を活用したまちづくりが望ましいと思います。が、市の考えを伺います。

○都市整備部長

春日部市中心市街地まちづくり計画で、中心市街地の特徴や現状の課題を踏まえ、4つの将来像が示されています。

○環境経済部長

大落古利根川の新町橋から埼玉橋までの区域が埼玉県の事業である、水辺ベンチャーチャレンジ事業に登録されたことを受け、大落古利根川河川広場等利用調整協議会を立ち上げ、意見を募り、具体的な整備計画を埼玉県に提出しました。

その計画に基づき、工事の着手に向け、現在、埼玉県と技術的な調整を進めているところ です。

このほか

○スマホによる生活環境の變化について

スポーツについて



木村 圭一
議員



①eスポーツは、こどもから大人まで世代を超えて楽しめて健康増進につながるスポーツではないかと考えますが、本市は、eスポーツをどのように進めて行こうと考えているのでしょうか。

②こどもたちが道幅の狭い住宅街の道路などで、車両などを気にしながらスケートボードなどを行っている姿を見かけるたびに、もっと本市でも伸び伸びできる場所ができないものかと思えます。そこで本市は、浸水被害が多いことから調整池や遊水地を活用した吉川市のような施設の検討はできないのでしょうか。

③若者に人気なアーバンスポーツを推進していくことも、大事な取り組みだと思いますが、市長はどのように捉えているのでしょうか。

○社会教育部長

①eスポーツの効果も含め、県や他自治体の動向を注視し、

情報収集などに努めていきます。②他自治体の整備事例や利用者ニーズなどの把握に努めていきたいと考えています。

○市長

③若者の文化を取り入れることで、新たな若者を引きつける効果があるものと私も日頃から意識しています。地域の元気を創出していく有効な手段であるとも考えています。

このほか

○教育センター再整備について

○ゴミ出しの課題について（多文化共存に伴うゴミ出しについて）

生活困窮者自立相談支援について



荒木 洋美
議員



生活困窮者は、就労の課題、心身の不調、家計の問題、家族の問題など、多様な問題に対応する支援が必要です。

先日、越谷市の生活困窮者自立支援の生活自立相談「よりそい」を視察しました。生活困窮者への支援を行うに当たっては、相談業務などに精

通している事業者に委託する必要があり、生活福祉課では生活保護の業務を行い、生活困窮者の支援事業については、事業を委託したほうが効率的であると考え、生活および就業支援に関する経験、並びに支援制度の事務に係る知見を十分に備えた事業者による業務委託しているとのことでした。

自立相談支援事業は、設置自治体の7割以上が委託で事業を行っているそうです。本市では、どのように考えているかお伺いします。

○福祉部長

本市の生活困窮者自立支援事業については、必要な資格を有した知識と経験のある相談支援員を採用していることから、相談員と職員が情報を共有し、解決に向けた対応を行っていると思います。

一方、業務委託では、専門性やノウハウなど、事業者の強みを生かすことができるメリットも考えられることから、市民サービス向上のため一つの的方法として、近隣市の動向などを踏まえ、必要性を見極めていきたいと考えています。

このほか

○防犯対策について

デフリンピックを盛り上げるために手話言語条例の制定を



大野とし子
議員



耳が聞こえないアスリートたちが競い合うスポーツの祭典であるデフリンピックが日本で初めて開催されます。今年で百周年となるデフリンピックを市として盛り上げ、市民の皆さんに手話に関心を持つてもらいたいと考えます。

市として、デフリンピックを盛り上げるためにどのように取り組むのか伺います。

また、ろう者の言語である手話を学び、手話を使い、手話を守ることができる春日部市とするため、県内53自治体が制定している手話言語条例を制定していくべきと考えますが、市の認識を伺います。

○福祉部長

周知は、第1にホームページで「東京2025デフリンピック」を表題に大会概要の掲載、第2に広報紙で、認知度の向上、第3に手話言語の国際デーとして公園橋にブルーライトアップを行います。



市役所でのデフリンピックPR活動

○市長

障がいのある人もない人も安心して暮らせる共生社会の実現のために、意思疎通の支援は重要です。関連する法の施行を踏まえ特性に応じた支援の充実に向け、自立支援協議会などの皆さんと議論を深めていきたいと考えています。

このほか

○小児休日夜間診療を実施し、切れ目なく命が守れる春日部市に

○高齢者の移動手段を確保し、自分らしく暮らせる春日部市に

防災について



金子 進
議員

私たちは30年前に発生した阪神・淡路大震災や14年前に発生した東日本大震災、そして昨年発生した能登半島地震などの大震災を経験していますので、災害に対する対策は十分できているように思いますが、しかし災害は、いつ、どこで起こるか分からないので、以下について伺います。

①備蓄品の保管方法と配備状況。②災害廃棄物の受け入れ場所の確保と処理方法。③災害廃棄物の処理について、市民への啓発の取り組み。

○市長公室長

①令和元年東日本台風の教訓から令和2年度以降、初動対応分として食料品や飲料水などを市内69カ所の避難所に分散備蓄しています。②春日部市地域防災計画において災害廃棄物の仮置場の候補地として旧谷原中学校西側約8万8000平方メートル、旧谷原中学校東側約4万平方メートル

ルを選定しています。廃棄物処理に関しては、災害廃棄物処理計画に基づき、迅速かつ適正に収集運搬、処分することとし、道路の復旧状況や周辺生活環境の状況などを踏まえ、収集運搬体制を構築することとしています。

○環境経済部長

③災害に備えて各家庭でできることや、災害が発生した際に生活ごみと災害ごみを分けることなどをイラストで分かりやすくまとめ、市のホームページにも掲載しています。

このほか

○附属機関の見直しについて



避難所の備蓄物資

放課後児童クラブでも自由にポケット型Wi-Fiを



石川 友和
議員

今年度より学校で月100GB契約のポケット型Wi-Fiを用意し、放課後児童クラブでも宿題などで使用可能になりました。

放課後児童クラブにおいての使用方法にかなりの制限があるように感じるので確認の意味も含め、以下伺います。

①学校におけるポケット型Wi-Fiの使用状況について

②8月1日から放課後児童クラブでも使用可能となったが、実際の状況について。

③お盆期間中など、学校に先生が居ない期間の貸し出しについて。

④各学校にポケット型Wi-Fiを2台ずつ用意しているのであれば、学校と放課後児童クラブでそれぞれ1台ずつ所持することはできないのか。

○学校教育部長

①校内のWi-Fi電波が届かない場所や校外学習用として使用しています。

④クラス単位の接続に2台が必要となるため、学校で管理しますが、可能な限り貸し出しについて協力していきます。

○こども未来部長

②8月1日時点で放課後児童クラブにおいてWi-Fiを利用できる環境にありました、18校で使用しています。

③借用する際は、その日のうちに返却することが条件となっており、先生が不在の期間は使用できない状況でした。

このほか

○家庭用防犯カメラ補助金について

市立医療センターの経営状況と今後の対応について



鬼丸 裕史
議員

春日部市立医療センターは、令和6・7年度と、入院外来の収益や患者数、救急受入件数や手術件数、紹介患者数などを着実に伸ばしてきているにもかかわらず、2年連続の赤字となっています。

現行の診療報酬が近年の急激な物価高・人件費高騰など

に対応しきれないと考えます。

そのような中で、医療センターの経営状況の見通しと、今後の対応についてお伺いします。

○病院事務部長

令和7年4月から8月までの経営状況を令和6年度の同時期と比較した場合、給与費、材料費などは依然厳しい状況が続いています。

しかし、入院や外来の患者数は前年度よりも多い状況が続き、収益では月間の過去最高の数値を示すこともあり、救急受入件数、手術件数、紹介患者数も全体的に増加傾向にあるため、下半期に数値を伸ばすことができれば、経営状況は改善の方向に向かうものと考えています。

今後については、現在の経営状況悪化の大きな要因が医療機関の経営努力、自助努力のみでは対応することが非常に困難なものであることから、春日部市長会や病院会などから国への要望を行うとともに、春日部市立医療センター経営強化プランに基づく取り組みを着実に推進し、経営基盤の強化に努めていきたいと考えています。

こどもから高齢者まで
楽しめる温水市民
プールの建設を



並木 敏恵
議員

危険な猛暑で、夏休みでも外で遊んでいるこどもは、ほとんどいませんでした。「市民プールがほしい」と決して少なくない市民が願っています。こどもから高齢者まで楽しめる温水市民プールを建設すべきと思いますが、「市民プールは造らない」というのはなぜですか。

危険な暑さからこどもたちと市民を守り、こどもも大人も高齢者も家族連れでも楽しめる室内温水プールは、市民の根強いニーズからも気候危機の現状からも検討すべきですが、市の考えを伺います。

○社会教育部長

市民プール建設に関する要望が市民意見提出手続などで寄せられていることは認識しています。スポーツ施設マネジメント計画および春日部市総合体育施設整備基本計画においては、プール建設は位置付けされていません。他の自

治体でも大規模改修などの財源確保が困難なことから、公設プールを廃止するところもあり、レジャー型プールの建設は難しいと考えています。

○市長

まずは、教育環境を第一に考え、八木崎小学校の屋内温水プールを早期に整備し、学校教育に支障のない範囲で市民の皆さまがご利用いただけるよう取り組んでいきたいと思っています。

このほか

○春日部市公共施設マネジメント基本計画は、市民要望に應える見直しを

北春日部周辺の
まちづくりについて



阿部 雅一
議員

北春日部駅周辺地区土地地区画整理事業は、北春日部周辺のまちづくりとして、内牧地区まちづくり研究会で、内牧公園、公共交通（路線バス）とともに活発な議論がなされています。公共交通二丁ズのアンケートが実施されましたが、区画整理事業の計画では

病気に悩む方々を
本気で支える
春日部市に



古沢 耕作
議員

いま、働いている方の約4割が何らかの病気を抱え、通院されながら仕事をしていきます。私自身、けいれん性発声障害という、少し珍しい病気を抱えています。病気があっても安心して暮らしていける社会、春日部市を築いていくことが、大変重要だと考えます。まず、そのことについて市はどう考えるのか。担当する健康保険部長が、ご自身の業務や日常生活でのご経験を踏まえてご答弁ください。

次に、病気には高血圧症や糖尿病などの生活習慣病から特定疾病や指定難病までさまざまありますが、本市のがん患者の方への支援について伺います。

○健康保険部長

私も定期的な検査を受けながら、病気の早期発見に努めています。

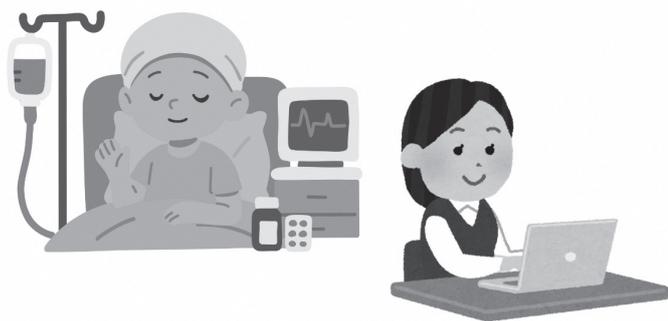
病気の予防はもちろん、たとえ健康を損なっても、安心

して暮らせる地域づくりを進めることが重要です。この考え方の下、本市の健康プロジェクトのひとつ「健康をはぐくむまちプロジェクト」を推進しています。

がん患者への支援は、令和6年度より、以下の助成金交付事業を開始しました。①ウイッグや胸部補整具の購入に対する助成。②40歳未満で回復の見込みが難しい方が対象で訪問介護や福祉用具の貸与・購入の助成。

このほか

○豊野地域の交通課題の早期解決を



粕壁南公民館は廃止せず 社会教育施設の確保を



木下三枝子
議員

粕壁南公民館は公共施設マネジメント計画において、老朽化から集約化・統合化の対象であり教育センター再整備計画案の中で廃止することが示されました。しかし、令和6年度は3万6549人の利用があり、市内公民館の平均利用人数3万1399人と比較しても大変高い利用状況であり、サークル数も多く、かすかべ茶屋や幼児家庭教育学級など幅広い年代に活用されている実績があります。

事業数も利用者数も多く、市も地域に根差した公民館であると認識している粕壁南公民館は廃止せず、請願も提出されていることから市民の意見に寄り添い、改修や建て替えて地域の社会教育の場を確保してほしいのですが、市長の見解を伺います。

○市長
粕壁南公民館は、建築から43年が経過し、旧耐震基準の

施設であり、公共施設マネジメントの観点からは、集約化などの対象となっています。

アンケート調査で施設利用者の72%の方から、公共施設は、機能・役割の移転や集約・複合化をしていくべきとの市民意見により、市として再整備を決定したものです。

なお、再整備後の教育センターは、さらに機能の充実を図り、利用者の利便性の向上と交流が一層図られるよう計画をしているところです。

このほか
○気候変動を考慮した水と緑と風のまちの実現を



未来を担うこどもの 居場所づくりについて



中村 貴彰
議員

買物や用事を済ませ夜にようやく家へたどり着く、そんな毎日を必死に走り続ける保護者の姿に子育て世代が背負う重さを痛感しています。今こそ、多様な働き方に合わせた柔軟な制度が必要です。また、こどもの居場所は単なる預かりの場ではなく、こどもたちが夢を描き可能性を広げられる大切な居場所です。安心できる環境を整えるとともに、元教員や元公務員など専門性を持つ人材の力を生かしながら「見守りの質」を一層高めていくことが重要だと考えています。春日部市のこどもたちが、幼少期から青年期まで切れ目なく安心して成長できる環境を整えるために、こどもの居場所づくりをどのように推進するのか伺います。

○市長
こども・若者が切れ目なく安心して成長できる環境の整備は、春日部市こども・若者

計画にもあるとおり、地域や産学官が連携しての多様な体験や経験ができる空間の創出や地域資源を生かした多様な体験活動の場の創出などにより、こども・若者の多様な居場所の充実を図っていきます。

また、居場所づくりに向けたのは、議会での議論も踏まえ、こども・若者自身の参画も得ることにより、地域への愛着形成やまち全体での居場所づくりを今後も推進していきたいと考えています。

このほか
○脊柱側わん症について
○百日ぜきについて

国民健康保険税の見直しについて



水沼日出夫
議員

国民健康保険税の見直しが始まった埼玉県と春日部市の取り組みの背景と、今後の保険賦課の見通しと考え方を伺います。

○健康保険部長
埼玉県が策定した埼玉県国民健康保険運営方針(第3期)では、県内における国保財政

のさらなる安定化と被保険者の公平性の確保を図るため、令和12年度から県内どの市町村に住んでいても同じ世帯構成、所得であれば、同じ保険税となる保険税水準の統一を目指しています。

この方針において、市町村は令和8年度までに赤字とされる法定外一般会計繰入金金を解消することや、令和9年度には県が示す標準保険税率とおりの税率に合わせることが求められています。

また、本市の国民健康保険は令和4年度以降、収支不足を補填するため、国保財政調整基金の取崩しや一般会計からの繰入金により対応するなど、極めて厳しい財政状況となつていきます。

今後においては、保険税の急激な負担増とならないよう配慮しつつ、保険税水準の統一を目指す県の方針に基づいた適切な税率となるよう、段階的な税率改定を市の国民健康保険運営協議会や市議会から意見をいただきながら検討を進めていきたいと考えています。

このほか
○豊春増戸地区における道路網再整備の道程について

このほか
○豊春増戸地区における道路網再整備の道程について

**(新) 中央町
第1公園について**



伊藤 一洋
議員



(新) 中央町第1公園については、設計、整備、管理運営に民間事業者のノウハウや資金を活用する、いわゆるPark-PIIの導入を予定していることを伺っています。事業者の選定については、公募により、公園の設計、整備、管理運営の内容を提案いただき、民間事業者を選定すること、また、提案内容の評価基準については、事業の実施方針、施設の整備や管理運営、事業計画、価格審査などを予定しており、事業者選定委員会を設置し、この基準の検討を進めていることを理解しました。

それでは、一番肝心な今後の予定、民間事業者などを公募する時期について、また実際に公園を開設する時期がいづになるのか、お伺いします。

○市長

(新) 中央町第1公園は現在、解体工事が進捗している

状況です。

民間事業者の公募については、Park-PII制度を活用するに当たり、本定例会において上程している、春日部市都市公園条例の一部改正についての可決をいただきましたら、速やかに進めていきたいと考えています。

また、公園の開設については、民間事業者の決定後、魅力ある公園となるよう、なるべく早期の開設に向けて事業を進捗させていきたいと考えています。

このほか

○職員の働き方について

**入院医療費
未収金問題について**



平沢 一博
議員



全国的に地域医療を担う公立病院は、人件費や診療材料費の高騰により、大変厳しい経営状況に置かれており、本市も例外ではありません。

診療報酬改定など、自助努力だけでは限界がある部分も多い中、入院医療費未収金問題は、取り組み次第で改善の

余地があると考えます。そこで、以下伺います。①未収金回収に向け、現在どのような取り組みを実施しているのか

②民間では、医療機関向けに連帯保証人代行サービスも実施されており、未収金を減らす上で有効な手段であると考えますが、このようなサービスを導入する考えがあるのか

○病院事務部長

①第1段階として、請求書を交付し、納期限を1カ月経過してもお支払がない場合、督促状を送付し、納付を促す取組を行っています。その後、督促状の納期限を1カ月経過しても支払いが確認できない場合は、次の手続きとして、催告状を送付します。催告状の納期限を1カ月経過しても支払いが確認できない場合は、次の手続きとして、法律事務所へ未収金の回収業務を依頼しています。

②他のサービスとの比較検討を進め医療費の未収金リスクの低減、回避に向けた取り組みを進めたいと考えています。

このほか

○一部の方々に対する年金申請支援について

○ひとり親の養育費確保について

**赤沼・銚子口地区
産業基盤整備事業について**



会田 吉幸
議員



令和4年9月定例会で、赤沼・銚子口地区産業基盤整備事業について一般質問を行ったから、3年が経過しています。

しかしながら、県の予算もまだ付いておらず、現状では、事業の着手に至っていない状況です。

事業に早期着手し、完成させるための課題ですが、県企業が産業団地を事業化するための条件として、

①全ての権利者から合意書を取得すること。

②農林協議をはじめとする関係機関との土地利用調整が整うこと。

③アクセス道路の整備が見込まれること。

この3つの課題があるとのことご答弁をいただきました。

この3つの課題解決は、優先順位があり、一つをクリアしていかなないと次のステップに進めないのでしょうか。

また、県の事業化を早期に実現するために、今後の市の手続きについて、お伺いします。

○都市整備部長

企業局における事業化については、農林調整をはじめとする関係機関などとの土地利用調整が整うことや、全ての権利者から土地の譲渡に関する合意書を取得することが要件とされています。

この要件に、優先順位はなく、いずれも時間を要するところから、今後も並行して取り組んでいきたいと考えています。



赤沼産業団地予定区域

岩谷市長に4年間の 取り組みについて問う



榛野 博
議員

選挙時、岩谷市長は当時の財政の脆弱さを指摘し、当選されました。現在、本市の財政力指数は基準値1を大きく下回り、0・6にもなりそうな状況です。今のほうが危険と考えますが、以下伺います。

①自主財源の確保を第2次総合振興計画で示しているが、何年計画で財政の立て直しを目指していくのか伺います。

②2期目を目指す岩谷市長の春日部市政に市民も関心が高いと思います。改めて幅広い世代に分かりやすいように2期目のビジョン、春日部の未来像をどのように考えているのか伺います。

○市長

①現在の社会経済状況は、不透明な要素も多く、今後国の政策動向も目まぐるしく変化する可能性があります。財政について、年度を示した計画を策定するには難しい状況にあると考えていますが、引き

続き、ふるさと納税制度などにより、自主財源の確保に努め、持続可能な財政運営を進めていきます。

②健全なまち春日部の実現に向け施策を展開し、市民の皆さまに暮らしやすさと幸福感を実感していただくとともに、

こどもたち、孫たちが未来に希望を持ち、高齢者の皆さまも安心して暮らせるまちづくりを推進し「住んでよかった住み続けたい」、さらには「住んでみたいまち春日部」と誰もが実感できる春日部市を目指していきたいと考えています。



春日部市の上下水道管 調査について



河井 美久
議員

本市に限らず、上下水道管をはじめとするインフラ施設の老朽化については、多くの自治体で課題になっていると思われれます。

令和7年4月に京都市において、国道に埋設されていた水道管が漏水し、国道が一時通行できなくなるだけでなく、自動車や周辺住居にまで被害が及ぶ事故がありました。

ひとたび上下水道管で事故が起きると、市民生活への影響も非常に大きく、大規模な事故においては、復旧までに長期間を要するため、日々の予防も含めた対応が求められます。そこで、上下水道施設に対する日常の点検などについて伺います。

○上下水道部長

市民からの通報には、24時間365日対応できるよう、管理体制を整えています。

上水道施設においては、業務委託による漏水調査を毎年

度実施しており、建設部で実施する路面下空洞調査の結果とあわせて、漏水箇所を早期発見に努めています。

下水道の管路施設については、県管理の流域下水道へ接続する汚水幹線を中心に、マンホールから管の中を確認することにより、老朽化の状態を把握し、優先的に更新を行う路線を抽出するためのスクリーニング調査を行います。

この結果、より詳細な調査が必要とされた路線においては、内部の状態を把握するためのTVカメラ調査を実施しています。

外国人住民と共に歩む 武里団地の未来について



藤原 智子
議員

本市の外国人住民は増加傾向です。特に武里団地はその割合が高くなっています。

外国人住民については、マインナスの側面が強調されがちですが、多くの外国人住民の方は地域の一員として子育てをし、仕事をし、私たちと同じように日々を生きています。

外国人と日本人が互いに理解と協力の輪を広げて共生社会を築いていくことが地域の未来にとって大切です。それは住民一人一人の意識と行動によって育まれていくものと考えます。

行政がその土壌を豊かにするために、自治会学校、NPOなど地域団体と連携して進めるべきと考えますが、市長の考えをお伺いします。

○市長

かすかべ未来研究所において、武里団地における課題について研究を進めており、武里団地支え合い会議など団体の皆さまと連携しながら課題の把握に努めているところで、その中でも外国人住民との共生は大変重要なテーマであると捉えているところです。

日本人と外国人が安心して過ごし、またいざというときに助け合える共生社会の実現に向け、武里団地の設置者であるUR都市機構、自治会をはじめとする地域団体の皆さまと共に、この課題に取り組んでいきたいと考えています。

このほか

○市民の暮らしを脅かすアライグマ対策の強化について

○学校図書館の充実について

お金の未来を語ってください
〜中期財政計画の必要性〜



山口 剛一
議員

市議会議員として、責任ある予算審議のためには、中期財政計画が不可欠と考えます。

国も作成を推奨しています。令和6年3月議会で財務部長は「中期財政計画の作成は必要で、研究する」と答弁しましたが、同年9月議会では一転、「社会情勢が激しく、信頼性の高い計画が作成できないため提示しない」と真逆の答弁に変更されました。これは執行部の覚悟と一貫性の欠如だと感じます。

そこで、以下伺います。
①中期財政計画を「作成・提示しない」と判断されたのは市長ご自身でしょうか。
②5カ月後に真逆の答弁に変更した理由と経緯について、市長の考えをお聞かせください。

○市長
①中期財政計画や収支見通しについては、財政課において

作成方法や形式などの検討を行った結果、歳入歳出ともに不透明な要素が多く見込まれ、収支の根拠を説明できるぎりぎりとした長期、中期の計画や収支見通しを対外的に示すことは難しいとの報告を受け、承認したものです。

②現況下では将来を予測することが困難であり、かえって誤解を生む恐れがあります。行政は計画主義が基本と考えますが、柔軟性と機動力を持った対応も重要と考えます。そのため、責任ある中長期的な計画や見通しを示すことは難しい状況と考えています。

豊野地区のまちづくり
銚子口橋について



鈴木 一利
議員



銚子口橋の架橋への始まりは豊野村が春日部市と合併する際の約束が出発でした。紆余曲折、さまざまな経緯がありましたがいまだ実現されていません。銚子口橋は大落古利根川の豊野地区と越谷市平方地区を結ぶ、橋長約100メートルの橋りようになりま

す。そこで、越谷市との銚子口橋架橋に向けての協議の進め方についての見解を伺います。また、①赤沼・銚子口地区産業基盤整備事業とともに銚子口橋架橋についての見解
②これからの豊野地区の将来像について、市長に伺います。

○建設部長
今後は、継続的に協議の場を設け、両市の関連する事業の進捗状況を常に確認しながら、これまで以上に協議を進めていきたいと考えています。

○市長
①東埼玉道路や産業団地などの豊野地区のまちづくりの動向や越谷市との連携を図りながら、今後の方向性を判断していきたいと考えています。
②東埼玉道路の開通により、国道4号バイパスの渋滞緩和や交通アクセスの向上が期待されています。また、赤沼・銚子口地区の産業団地整備により、新たな雇用の創出や財政基盤の強化が図られるなど、大きなポテンシャルを持つ地区と考えているところです。

このほか
○小中学校体育館のエアコン使用について
○児童館をもっと楽しめる施設に

今定例会傍聴状況		月日	傍聴者数	主な日程
8/25	2	上程・説明		
9/1	1	質 疑		
	2	質 疑		
	6	質 疑		
	1	質 疑		
	3	委 員 会		
	6	委 員 会		
	26	一 般 質 問		
	16	一 般 質 問		
	18	一 般 質 問		
	22	一 般 質 問		
	20	一 般 質 問		
	3	討 論 ・ 採 決		
合計	126			

傍聴して一言

大変勉強になりました。質問が議員目線と思われる感じがする。もう少し市民目線で質問してもらえたらありがたいと思います。

女性・76歳

プレイパークに対する市の基本的な考え方について知りたくて来ましたが、傍聴は初めてだったので、市政が身近に感じられ、いい機会となりました。

女性・42歳

とても身近な問題・施策課題（医療・交通など）について、普段見えてこない細かな部分が明確になり、納得するに至りました。

市長、議員各位、執行部の皆さま、今後とも市民に寄り添って行政をお願いします。また勉強にきます。ありがとうございます。

女性・55歳

冷房の設定温度が低いように思いました。午後からの傍聴でしたので、眠気対策にはいい効果があったのかもしれない。

受付の方が親切に対応してくれました。

議会はスムーズに行われていました。

健康に関する質問はまさに高齢者が多数いる春日部市に重要な内容でした。

市立医療センターの役割を今一度見直してもらいたいと思います。

特に、休日・夜間診療については、受け入れの強化を強く望みます。

女性・65歳

※割愛させていただいた部分もあります。

避難所開設
訓練の実施

令和7年9月24日に避難所開設訓練を実施し、25名の議員が参加しました。

地震などの災害が発生した際、各議員が災害対策本部からの情報を収集しながら各地域に入り、避難所などの状況把握を行うことを想定し、危機管理防災課職員を講師に招いて避難所の開設や運営訓練を行いました。

詳しい内容は
こちらから



閉会中の委員会活動

▽議会運営委員会

8月20日

令和7年9月定例会の運営について

▽議会改革検討特別委員会

7月1日

デジタル化とペーパーレス化について

・議会報告会について

議員研修会の開催について

議会基本条例に関するルール集について

8月7日

デジタル化とペーパーレス化について

・議会報告会について

議会基本条例に関するルール集について

・議会費の予算について

▽広報広聴委員会

9月26日

議会だより第81号について

議会だよりのレイアウト変更について

10月3日

議会だより第81号について

議会だよりのレイアウト変更について

▽図書室運営委員会

10月3日

図書購入の申し込みについて

市議会より埼玉県議会へ
要望書を提出しました

中心市街地まちづくり検討特別委員会および地域拠点整備検討特別委員会において協議を行い、令和8年度埼玉県予算に、本市の要望を反映させていただくよう、10月14日に議長、副議長および中心市街地まちづくり検討特別委員長、地域拠点整備検討特別委員長、副委員長の4名で県議会へ要望書を提出しました。

詳しい内容は
こちらから



編集後記

議会だよりの編集に関わる中、毎号の作業を通じて、議会での議論をどのように市民の皆さまに分かりやすくお伝えできるかを改めて考える機会をいただいています。

今号でお伝えした9月定例会では、令和6年度決算の認定も行われました。

市民の皆さまからお預かりした大切な税金がどのように使われたのかを丁寧に審査し、適正かつ効果的な執行であったかを確認しました。市政をチエックすることは議会の大切な役割の一つです。議会だよりは、そうした議会の動きを少しでも身近に感じていただけるよう、市民の皆さまへの橋渡しとなることを目指しています。

市民の皆さまから寄せられるご意見やご要望は、私たちにとって重要です。

市民の皆さまに親しまれ、読んでもらえる「かすかべ議会だより」の紙面づくりを心がけ、市民の皆さまの声を大切にしながら、議員一同、より良いまちづくりに力を尽くしてまいります。

市議会ホームページのご案内

市議会のホームページでは、議員名簿、会議日程、会議録、本会議の録画中継映像などをご覧いただけます。

また、スマートフォンなどにも対応しておりますので、ぜひご覧ください。



広報広聴委員会

- 委員長 会田 吉幸
- 副委員長 木下三枝子
- 委員 山口 剛一
- 委員 平沢 一博
- 委員 伊藤 一洋
- 委員 中村 貴彰
- 委員 藤原 智子
- 委員 大里 昇
- オプザーバー
- 議長 小久保博史
- 副議長 石川 友和

〒344-8577

埼玉県春日部市中央七丁目2番地1
春日部市議会

TEL 048-796-8395

